

秋田ふるさと応援団

イベント収益を寄付

スポーツ・文化振興に

首都圏在住の本県出身者らでつくるNPO法人秋田ふるさと応援団が10日、チャリティイベントの収益金の一部15万円を県東京事務所へ寄託した。本県のスポーツ、文化の振興や、昨夏の大津波被害の支援に役立ててもらおう。

三平俊悦理事長ら5人が東京都千代田区の都道府県会館を訪れ、成田光明東京事務所長に寄付金を手渡した。三平



寄付金を手渡す三平理事長ら

©秋田魁新報社

理事長は「年末年始は高校スポーツの全国大会の応援に熱が入った。これからも県勢を応援していきたい」と述べた。秋田ふるさと応援団は昨年12月4日、「スポーツ・文化・災害支援 秋田応援の集い」を都内で開催。本県ゆかりの著名人らが寄せたサイン色紙のオークションを行ったほか、県産品を販売するなどした。

秋田ふるさと応援団は首都圏や関西で県勢が活躍するスポーツ大会などに駆け付けて応援。「応援の集い」は本県のスポーツ、文化活動を応援しようと毎年開催している。

(伊藤正孝)